

# データマイニングアプローチによるアノマリーの解析と 新時代のアセットマネジメント

岡田 克彦（関西学院大学）

羽室 行信（関西学院大学）

本講演では、アノマリーの発生原因を、データマイニング研究における方法論を援用することによって網羅的に探索し、従来の方法論では明らかにできなかった部分に光を当てる可能性を示唆する。題材として用いるのは、証券アナリストによる評価変動後の株価パフォーマンスである。日米ともに証券アナリストによる評価変動が、株価のドリフトを引き起こすことは多くの研究で明らかにされている。格上げ情報よりも格下げ情報により敏感に反応することや、小型株ほど株価ドリフトの程度が大きいことなどはわかっているものの、どのような特徴を持つ企業が影響を受けやすいのか、評価変動の情報が出た時点の相場の空気は関係あるのか、変動率は関係あるのか、等々未解明な部分は多い。講演では、データマイニングアプローチによって導出された仮説に基づきながら銘柄選択し、マーケットニュートラルポートフォリオを構築することで、市場を大幅に上回る運用が可能なことを示す。